

2013年度 法科大学院

第2回 既修者入学試験問題

3時限

民法・民事訴訟法・刑事訴訟法(論文集)

試験時間 120分

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
3. 試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気付いた場合は手を挙げて監督に知らせてください。
4. 解答用紙には解答欄以外に記入欄がありますので、監督の指示に従ってそれぞれ正しく記入してください。
5. 解答は、必ず解答用紙の解答欄に記入してください。解答用紙の解答欄以外に記入された解答はすべて無効とします。解答用紙の裏面を使用する場合は「裏面に続く」と記載してください。
6. 解答用紙は各1枚しか配布しません。複数枚請求されてもお渡ししません。
7. 貸与した六法以外の参照は一切できません。
8. 試験問題の内容等について質問することはできません。
9. 問題冊子の余白等は適宜使用してかまいませんが、解答用紙の解答欄以外に記入された解答は無効とします。
10. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

[民法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

Yは、30年間会社をワンマン経営してきたが、年をとってきたこともあり、娘の夫Aに会社の経営を任せようと考え、Yが所有し会社が使用している建物甲（時価2000万円）およびその敷地乙（時価6000万円）をAに贈与することとし、引渡した。もともと、Yは、かねてよりAの経営手腕について疑問を抱いていたので、甲・乙の登記については、しばらくAの経営手腕を見て、Yがこれを認めたときに、Aに移転することとした。

会社の経営を任されたAは、Yに自己の経営手腕を認めてもらおうと会社の業績アップに努めたが、会社の業績は傾く一方であった。Aは、会社の業績を回復するために追加融資をしてもらおうと考え、Xに相談した。そうしたところ、XがAに対して甲・乙を担保に8000万円を融資することとなった。ただ、契約上担保の形式をとることによって後々面倒なことが起こると困るので、AがXに対して甲・乙を8000万円で売却することとした。なお、甲・乙の登記については、AがYから甲・乙の登記を移転してもらおう手続を考慮して、1ヶ月後にAからXに移転することとした。

AがXに甲・乙を売却してから、1週間後、Aの経営に業を煮やしたYは、経営者交替の話および甲・乙の贈与の話は初めからなかったこととする、とAに告げ、Aも仕方なくそれを了承した。

移転登記の予定日になってもAが移転登記に応じないので、Xは、Aを問い詰めたところ、Aから甲・乙の贈与の話がなくなったことを聞き、「融資をした以上、いまさらそんなことは許されない。」と怒り、直接Yに対して甲・乙の移転登記を訴求した。

設問

XのYに対する甲・乙の移転登記請求が認められるかを、考えられるいくつかの移転登記請求の根拠およびそれに対するYの反論を考慮しながら検討しなさい。

（解答は全て解答用紙に記入すること）

[民事訴訟法]

つぎの文章を読んで設問に答えなさい。

XはYに対して1000万円の支払いを求める貸金返還請求訴訟を提起したところ、

1. Yは、Xから金を受け取ったことは認めるが、借りたのではなく、以前絵画をXに売ったので、その代金として受け取ったと主張した。
2. Yは、Xから金を借りたことは認めるが、すでに弁済したと主張した。

設 問

1、2のそれぞれの場合に、証明責任は、XとYのいずれの側に、どの部分について存在するか、について論じなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)

[刑事訴訟法]

つぎの文章を読んで、設問に答えなさい。

警察官が、薬物犯罪の疑いをもってXに対し職務質問を開始し、所持品を提示するよう求めた。しかし、Xが応じようとしないので、その着衣のポケットに手を差し入れて所持品を取り出し検査した。その結果、覚せい剤と判明したので、Xを現行犯逮捕するとともに、これを差し押さえた。

設 問 1

このような警察官の行為について、問題点を指摘しなさい。

その後、検察官は、Xを覚せい剤取締法違反（所持）で起訴した。

設 問 2

差し押さえられた覚せい剤およびその鑑定書を証拠とすることについて、問題点を指摘しなさい。

(解答は全て解答用紙に記入すること)